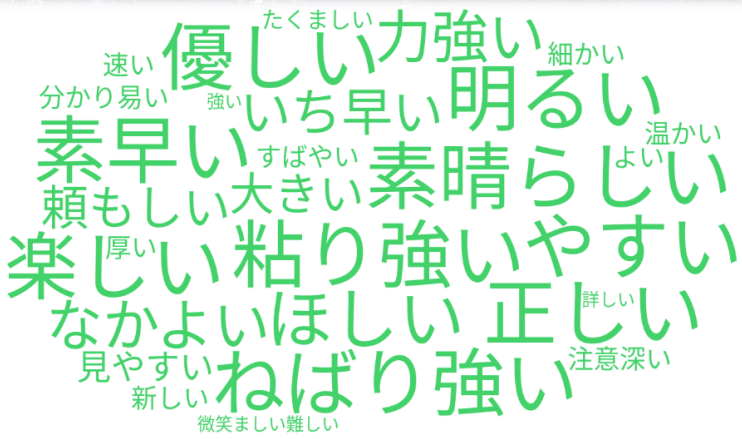
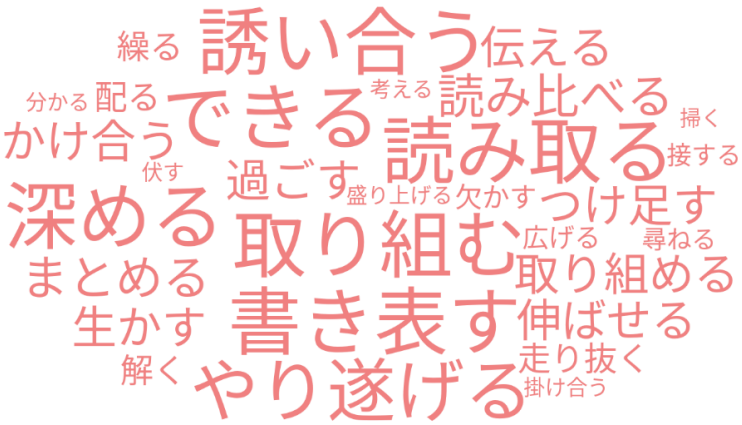
合志市立西合志南小学校 学校だより
西南小乃風
令和6年10月11日
第23号
文責 田中 宏和

癒やし癒やされ

昨年も書きましたが、昭和の通知表所見は辛辣でした。おそらく五十代以上の方々には、共感していただけるかと思います。ただ、優等生だった方は違うでしょうし、学校によって少し事情が違うかもしれません。とにかく、私の通知表の所見欄は歯に衣着せぬどころか、時に牙をむくほどの辛辣さでした。私の母はそういう通知表を見ては私を叱ったので、終業式はだいたい憂鬱な気分で家路についたものでした。時代変わって、令和の所見はかなり前向きで、牙はありません。子どもたちに、これまでを振り返り、今後の意欲をもってもらうのが通知表の役割です。

さて、前期通知表の所見を全て読みました。昨年度は、いくつかをピックアップして紹介しましたが、今やAIの時代ですので、テキストマイニングで分析をしてみました。全校児童八六五人分の約十六万文字に及ぶ所見データを分析した結果、キーワードは左記のようになりました。字の大きさが出現頻度を表します。色については、緑は形容詞で子どもたちの姿、様子を表現した言葉です。赤は動詞で、子どもたちの行動を表しています。どちらも、西南小の↘





子どもたちの良さがあふれています。「**粘り強い**」は「**ねばり強い**」とともに二つもあって、前期の頑張っている様子そのものなのでしょう。そして、「**取り組む**」「**やり遂げる**」も合わせると、子どもたちのこれからの成長も期待せずにはいられません。今日の終業式では、二・四・六年各学級代表の十三人の子どもたちが、前期のがんばりを発表してくれました。それぞれの「**粘り強い**」→「**取り組む**」→「**やり遂げる**」という結果です。

次に、西南小の子どもたちの良さとして、「**優しい**」にぜひ注目したいと思います。終業式ではこんな話をしました。

この前期、皆さんとてもがんばりましたね。学校外のお客さまから『子どもたちは落ち着いていますね。』とよく褒められました。先生達はものすごく疲れています。口では「元気」と言っているかもしれませんが、よーく顔を見てみてください。間違いなく疲れています。ところで、「癒やし」を読めますか？ 「もやし」ではありません。「いやし」です。「癒やし」とは苦しみを取り除くこと、または取り除くもの、人のことです。私たちにとっての「癒やし」は皆さんです。

だから、校長先生からお願いです。今日、帰るまでに担任の先生をはじめ周りの先生を、ぜひ元気にしてほしいのです。声をかけてほしいのです。ありがとうの気持ちを言葉で伝えてくれたら、先生達はすごく元気になると思います。そして、帰り道には見守りのおじさんやおばさんがおられると思います。一言「いつもありがとうございます」と伝えてみてください。きっととても喜ばれると思います。最後のお願いです。帰ったら、お家の人に感謝の気持ちを伝えてください。皆さんの一言が周りの大人の元気になります。今日、西南小校区がみんな元気になれたらいいなと思います。

朝の登校指導の時、坂本教頭は「前期ありがとうございました。後期もよろしくお願いします」という言葉を、何人かの児童からもらったとうれしそうに言っていました。そんな子どもたちの「**優しい**」ところが、まさに「癒やし」です。今日は何人が周りの大人に声をかけてくれたかな。

大人だけでなく、子どもたち自身もより元気になるはずです。